

滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会 第3回会議 会議概要

日時 令和4年8月30日(火) 13時30分～15時30分
場所 滋賀県庁 北新館5階 5-A会議室
出席委員 会場：若松委員、馬淵委員、松浦委員、寺田委員、明吉委員、樋口委員、北村委員、
東谷委員、小南委員、加藤委員、都賀委員、犬井委員、浦島委員、福井委員、
炭谷委員、木部専門委員、田中専門委員
リモート：井手委員、塚本委員 (出席19名)
欠席委員 原委員 (欠席1名)
県出席者 村井教育次長、嬉野教育次長、横井高校教育課長、澤幼小中教育課長、青木保健体育課長、
小林私学・県立大学振興課長、南野競技力向上対策室長、白井参事、杉原参事、武原主幹、
他関係職員
傍聴者等 傍聴：7名 報道：1社

1 開会

(1) 専門委員の委嘱について

木部専門委員(大津清陵高等学校長)および田中専門委員(瀬田工業高等学校長)に対して委嘱状が交付された。任期は令和4年8月30日から令和6年3月31日までとされた。

(2) 専門委員の自己紹介

専門委員より自己紹介が行われた。

(3) 滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会第2回会議の概要について

事務局より資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

2 協議

「生徒の優れた点を多面的な観点で評価しつつ、主体的な進路選択を推進する入学者選抜方法等のあり方について」

論点①「推薦選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜、特色選抜の現状と課題など」

論点②「一般選抜の現状と課題など」

論点③「入試日程および入試業務など」

(1) 入学者選抜に関するアンケート集計結果および分析結果について

高校教育課長より資料(別紙)に基づき説明があった。

(2) アンケートの結果を踏まえた論点①および論点②についての協議

前回に引き続き、論点①および論点②について、アンケート結果を踏まえ、ポイントを①「アドミッション・ポリシーに沿った実現可能な選抜方法」、②「受験機会の複数化について」の2点に絞り議論を行った。また、事務局から2点、情報提供を行った。

○事務局からの情報提供の概要は以下のとおり。

- ・ 競技力向上対策室から国スポ後の強化拠点校の在り方について、次のような情報提供があった。
強化拠点校は、競技団体とともに強化センターとしての役割を担っており、県民や競技団体関係者の期待は高い。そのため、強化拠点校のうち、当該競技の普及・振興や強化センターとしての役割が期待される学校については、国スポ終了後もレガシーとしてその仕組みを継続していきたい。また、国スポ後は強化拠点校の指定に関わらず、スポーツの実績をもとに行う推薦制度は、スポーツを滋賀の高校で続けたいと思う生徒のために残してもらいたい。
- ・ 保健体育課から部活動の地域移行の動向について、次のような情報提供があった。
令和5年度から公立中学校における休日の部活動から地域移行となり、本県でも2市でモデル事業に取り組むなど検討を進めている。今後、学校外の地域での活動に参加していく生徒が増えていくことが見込まれる。また、全国大会を主催している日本中学校体育連盟では地域クラブなどの大会への参加を認める方向で検討されている。

○ポイント①における主な意見は次のとおり。

- (ア) 中学校長の推薦制度は、受検生の意欲等が保障されていると考えている。また、スポーツや文化を特色とする高校に行きたいと考える生徒は一定数いるため、スポーツ・文化芸術推薦選抜については継続してほしい。今後、部活動の地域移行の動向も踏まえ、中学校長推薦制度と自己推薦制度の両方あればよい。 (高校関係者)
- (イ) 特色選抜で総合問題を必ず課す必要はない。総合問題に替え、実技検査などを課すことで特色を打ち出した選抜が可能になる。しかし、現在の特色選抜における受検者数を考えると、選抜内容の精選、受検者数を絞れるような出願要件や募集枠を高校ごとに柔軟に設定できるようにしないと、アドミッション・ポリシーにあった選抜を実現するのは難しい。 (高校関係者)
- (ウ) 中学校において、地域での活動を把握し評価するよう努めているが、100%とは言えない。校外での活動を評価されることが明文化されればよいが、中学校によって対応が異なると公平性の問題がでる。 (中学校関係者)、(PTA関係者)
- (エ) スポーツや芸術が得意でアイデンティティが早期完了している人だけが、高校を選ぶことができる選抜方法だけにこだわる必要はない。最初から専門化することだけがよいことではない。 (PTA関係者)
- (オ) 特色を出せる高校と出せない高校が必然的にあり、それほど特色にこだわる必要はない。「幅広く基礎力を養成する」、「国語力を大事にする」などを特色とする高校があってもよい。 (学識経験者)
- (カ) 定時制、通信制は就労している青少年の教育保障が本来の学校設立の理念である。そのため、推薦選抜、特色選抜において、定時制で高校の特色を出すことは難しい。 (高校関係者)

○ポイント②における主な意見は次のとおり。

- (ア) 3月に行われる一般選抜において、2種類の観点で選抜を行い、現在の特色選抜に替えることは、複数回の選抜機会を保障するとともに業務負担の軽減につながる。しかし、1校しか出願ができないため、主体的に高校を選択することよりも合格できる高校を受検することになるのではないか。 (学識経験者)
- (イ) 受検機会の複数化については、出願事務など中学校教員の負担はあるが、目の前の子どもや保護者の気持ちも考慮すると、現状維持がよい。 (中学校関係者)
- (ウ) 生徒にとって、出願変更の時期というのは真剣に考える時期であり、現状の制度を残してもらいたい。一方で、倍率の数字を見て志願先を変えるというのは、スクール・ポリシーで高校を選択させることと、矛盾する。 (中学校関係者)、(学識経験者)

○その他の意見は次のとおり。

- (ア) 滋賀県以外の他府県から優秀な子どもたちをいかに滋賀に学びに来てもらうのかという視点もあってよいのではないか。 (PTA関係者)
- (イ) 入試のDX化を進めることで業務改善され、簡素な受検業務になると考えられるが、現在の大変さを基準に考えるのではなく、業務改善された時に何をすべきなのかを考えるべき。 (PTA関係者)
- (ウ) 毎年500人以上の生徒が他府県へ流れている状況を踏まえた上で、入試日程を工夫しなければいけないし、受検機会を増やししながら、アドミッション・ポリシーに対応した選抜の内容についても考えていく必要がある。 (高校関係者)

(3) その他
特になし。

3 閉会

閉会にあたり、嬉野教育次長から挨拶があった。

次回、第4回協議会の日程については、10月下旬としていたが再調整し、委員には改めて連絡することとした。

滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会委員名簿

任期：令和4年3月17日から令和6年3月31日まで

	氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
1	若 松 養 亮	滋 賀 大 学 教 育 学 部 教 授	会長
2	井 手 慎 司	滋 賀 県 立 大 学 環 境 科 学 研 究 科 教 授	
3	原 清 治	佛 教 大 学 教 育 学 部 教 授 副 学 長	
4	馬 渕 均	米 原 市 教 育 委 員 会 教 育 長	
5	松 浦 加 代 子	湖 南 市 教 育 委 員 会 教 育 長	
6	寺 田 佳 司	滋 賀 県 私 立 中 学 高 等 学 校 連 合 会 会 長 (立 命 館 守 山 中 学 校 ・ 高 等 学 校 校 長)	R4.4.1 から役職変更
7	明 吉 正 知	県 立 守 山 中 学 校 ・ 高 等 学 校 校 長	R4.6.1 から
8	樋 口 啓 子	県 立 石 山 高 等 学 校 校 長	
9	北 村 登 志 子	県 立 長 浜 北 高 等 学 校 校 長	R4.6.1 から
10	東 谷 正 宏	県 立 草 津 東 高 等 学 校 教 頭	R4.6.1 から
11	小 南 美 穂 子	県 立 河 瀬 高 等 学 校 主 幹 教 諭	
12	加 藤 三 男	彦 根 市 立 中 央 中 学 校 校 長	副会長
13	都 賀 正 樹	大 津 市 立 青 山 中 学 校 校 長	
14	浦 島 容 子	高 島 市 立 高 島 中 学 校 校 長	R4.4.1 から所属変更
15	犬 井 裕 明	東 近 江 市 立 能 登 川 中 学 校 校 長	R4.6.1 から
16	福 井 洋 枝	守 山 市 立 明 富 中 学 校 教 頭	
17	炭 谷 将 史	滋 賀 県 公 立 高 等 学 校 P T A 連 合 会 会 長 (県 立 守 山 中 学 校 ・ 高 等 学 校)	
18	塚 本 晃 弘	滋 賀 県 P T A 連 絡 協 議 会 顧 問 (東 近 江 市 立 聖 徳 中 学 校)	R4.4.1 から役職変更

滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会専門委員名簿

任期：令和4年8月30日から令和6年3月31日まで

	氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
1	木 部 浩 次	県立大津清陵高等学校 校 長	
2	田 中 俊 夫	県立瀬田工業高等学校 校 長	

入学者選抜制度に関するアンケート集計結果の概要1

1 実施期間および回答数について

実施期間：6月20日（月）～7月4日（月）

対象：県立高等学校と市町立中学校の校長先生、副校長先生および教頭先生

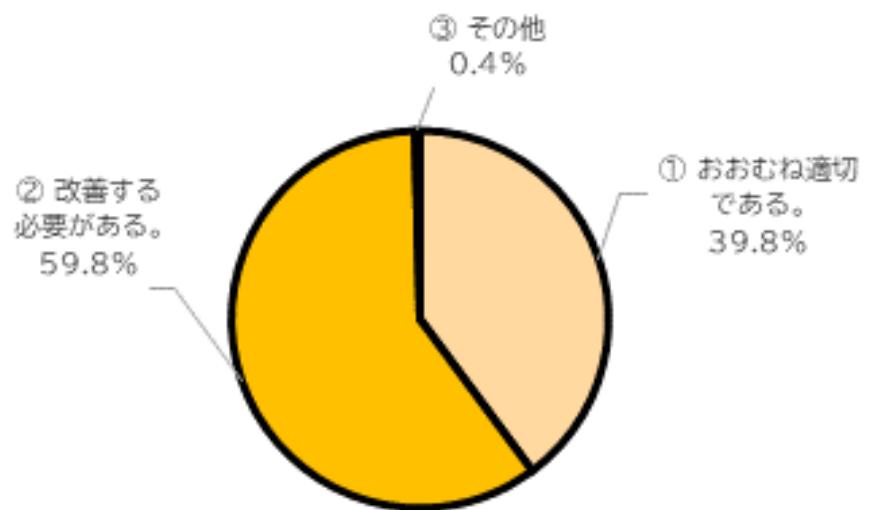
有効回答数：241（対象者数：311人） 回答率：77.5%

2 集計結果について

問2 入学者選抜全般について

（1-1）現行の入学者選抜制度について、どのようにお考えですか。次のうちから一つ選んでください。

- ① おおむね適切である。
- ② 改善する必要がある。
- ③ その他



（1-2）上記を選んだ理由を書いてください。また、課題と考えていることがあれば書いてください。

① おおむね適切である。

・いくつかの高等学校で受検者が募集定員を割る状況があるが、概ね募集定数に近い倍率となっており、卒業生徒数を見込んだ定数を毎年検討されているため、おおむね適切だと考える。特色選抜は受検希望者数が非常に多いため、不合格を経験してしまう生徒が毎年多く出ている。受検結果が出た後の指導では、一般受検すれば十分合格する力がある生徒まで、志望校変更してしまったり、同一校を受検して、合格者と不合格者が同一学級にいた場合は、学級経営に影響を及ぼしてしまったりしている。

（中学校・甲賀地区）

・複数の受検機会が一定確保されており、公正公平という観点からもおおむね適切だと考えている。また、私立高校入試の日程、発表・手続きの日程を考慮しても、現行の特色推薦選抜と一般選抜との併用が妥当と言える。ただし、特色選抜が特定校に集中し過ぎることは課題となっている。また、高等学校の特色ある取組があっても、中学生にとってはわかりにくいものもあり、その発信方法も課題の一つとなっている。

（中学校・湖北地区）

・居住地によって近隣の高校に入学できないという制約がなくなり、生徒と保護者のことを第一に考えた入学者選抜となっていると思います。中学校、高校の実務面は改善の余地はあると思いますが、おおむね適切な制度であると思います。

（高校・湖東地区）

・様々な改革が概ね定着し、中学生、保護者、県民からの支持を得ていると考えるから。ただし、さらなる少子化に向けた対策を講じる必要がある、地域・学校間格差についても継続して検討すべきだ。

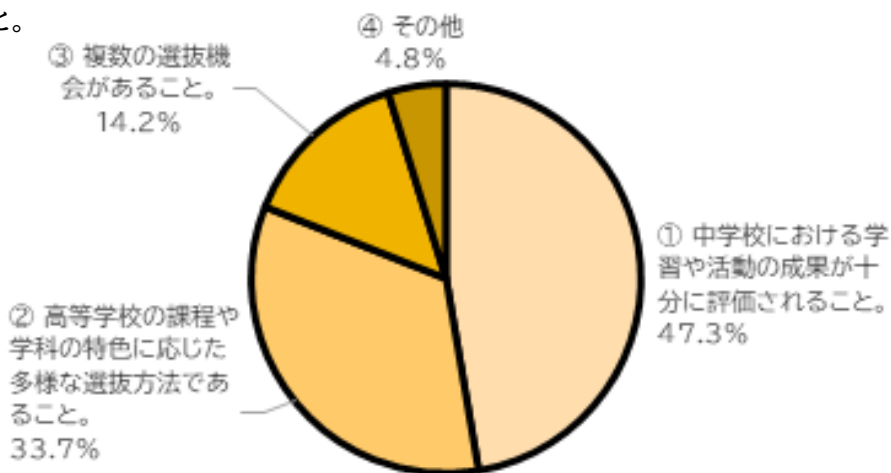
（高校・大津・湖西地区）

② 改善する必要がある。

- ・推薦選抜、特色選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜、一般選抜、二次選抜のように入試の種類が多すぎて、中学生の負担が大きいと思われます。また、高校側からみても、学年末の忙しい時期に、各選抜の事前準備から採点、合否判定、中学校への通知、県への報告等の業務が多すぎるように思います。働き方改革推進を考えたとき、業務の精選が必要かと思えます。(高校、湖西・大津地区)
- ・特色選抜は、必ずしも各高校の特色と結びついておらず学力による1回目の選抜と言える状況である。推薦選抜は、中学校長の推薦という本来の趣旨に合致しにくくなっており説明責任が果たせる内容に改善する必要がある。どちらの選抜も現状では、学力や特別活動で核となる生徒の私立高校への流出を防ぐためという意味合いが強い。今後策定される県立高校の魅力化プランや各高校が示すアドミッション・ポリシーと整合性のある入学者選抜制度に改善していく必要がある。(高校、湖南地区)
- ・特色選抜が、多くの生徒にとって”失敗体験”となっている現状がある。推薦選抜、一般選抜および2次選抜でよい。特色選抜を選抜機会として維持するのであれば、総合問題を行わなくても選抜できる学校のみ行うべきである。私立高校等の入試時期ともあわせて総合問題への取組が中学生を苦しめ、なおかつ”失敗”を経験する中学生を増やしていることは二重苦、三重苦にもなっている。(中学校、湖南地区)
- ・特色選抜は生徒の受験機会を増やすという観点では良いのかもしれないが、余りにも倍率が高く不合格者を大量に出すことから、中学校3年生には大きな精神的負担になっている。また、現在の特色選抜の問題からは各高等学校の特色はほとんど読み取れない。(中学校、湖南地区)

(2-1) 入学者選抜制度のあり方について考える場合、どのようなことを特に重視すべきだと思いますか。次のうちから二つまで選んでください。

- ① 中学校における学習や活動の成果が十分に評価されること。
- ② 高等学校の課程や学科の特色に応じた多様な選抜方法であること。
- ③ 複数の選抜機会があること。
- ④ その他



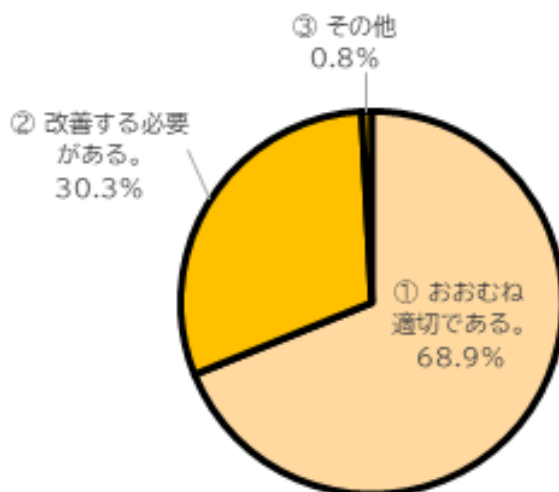
(2-2) 上記で④と回答された方は、その内容を書いてください。

- ・採点業務の負担と課題を解消するために、一部マーク式などを採用すべき。
- ・多くの選抜方式や機会を設定することが、実施する側の負担やミスが増加につながることを認識すべきである。
- ・推薦・特色選抜においては必ずしも入学許可予定者数を募集定員に充足させなくてよいことにする。志願はWEBで行えるようにする。
- ・全国学力学習状況調査や英語検定など第三者によるテストの結果による選抜。

問3 一般選抜について

(1-1) 一般選抜について、どのようにお考えですか。次のうちから一つ選んでください。

- ① おおむね適切である。
- ② 改善する必要がある。
- ③ その他



(1-2) 上記を選んだ理由を書いてください。(自由記述)

① おおむね適切である。

- ・どの高等学校を受検しても「共通問題」であり、中学校での学習内容を見る試験であり、特に課題はないと思います。(高校、湖西・大津地区)
- ・全県一斉の統一問題による選抜であり、公正・公平であると考えられるから。(高校、湖東地区)
- ・ここ数年、入試問題の質がかなり高く(複雑化)なっているように感じますが、新しい学力観に照らし合わせれば、必然だと思います。(中学校、湖北地区)
- ・生徒のニーズに応じて細かな配慮をしていただいていると感じます。(中学校、湖西・大津地区)

② 改善する必要がある。

- ・記述式の解答が増えたことや開示請求が増えたことなどにより、採点や入試全般にかかる業務が以前より大幅に増え、現場への負担が大変大きくなっているため、業務負担を減らせる方法を検討する必要があると思うから。(高校、湖西・大津地区)
- ・全般的な内容としては中学生に身につけさせたい学力を問うものであり適切と考えるが、幅広い学力層に対する検査として、基礎基本を確認する内容が不十分であること、記述解答などで採点基準に疑義が生じる懸念があること、問題の分量などは検討する必要があると考える。(高校、湖南地区)
- ・難易度が高く、基礎基本を学んできた生徒のための入試ではありません。生徒の何を評価しようとしているのかわからず、一部の生徒の学力のみをはかるものだと感じます。(中学校、湖北地区)
- ・出願、出願変更、再出願の事務が煩雑。(中学校、湖南地区)

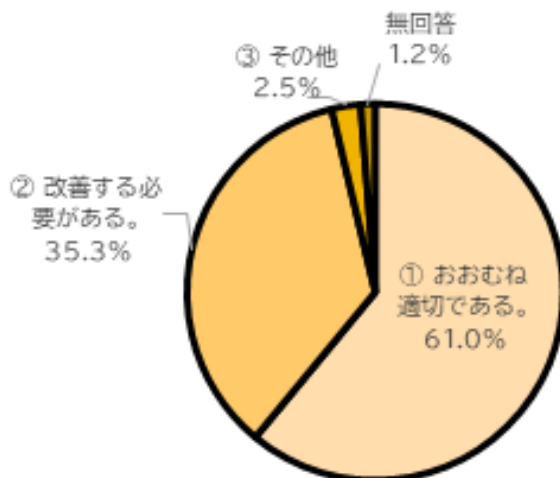
(2) 一般選抜についての具体的な改善点等の御意見がありましたら、お書きください。(自由記述)

- ・マーク式、記述A、記述Bの3段階とし、記述Aは全県的に一致した採点基準とする。記述Bは学校が求める生徒像に合わせた採点基準とする。(高校、湖南地区)
- ・全般的に記述式の問題の割合を減らしたり配点の大きい記述式の問題を減らしたりする。また、採点日を2日間に伸ばすことや合格発表までの日数を増やすことなどができるとよいのではないかと思います。(高校、湖西・大津地区)
- ・全県同一問題を解答するのではなく、京都のようにA問題、B問題形式にすることで、多様なA問題重視、B問題重視など多様な選抜基準を示すことが可能になるのではないかと。(中学校、湖北地区)
- ・学校の特質により面接・口頭試問を組み合わせるなど。(中学校、湖東地区)

問4 推薦選抜について

(1-1) 推薦選抜について、どのようにお考えですか。次のうちから一つ選んでください。

- ① おおむね適切である。
- ② 改善する必要がある。
- ③ その他



(1-2) 上記を選んだ理由を書いてください。

① おおむね適切である。

- ・ 中学校長の推薦を受けた目的意識を持った生徒が受検できる制度であり、特に問題がないと思うから。 (高校、湖西・大津地区)
- ・ 各高校の特色を生かした選抜ができていると考えられるから。 (高校、湖東地区)
- ・ 大きな実績がなくても、まじめにコツコツ学習に取り組める生徒が評価されたり、本番に弱い生徒の受検の機会が増えたりすることは、良いことだと感じている。 (中学校、湖南地区)
- ・ 学力評価のみでなく、個人の特性に応じた推薦制度は必要であると考える。 (中学校、湖北地区)

② 改善する必要がある。

- ・ 推薦制度を希望する生徒が多く、保護者、教員を含め一般入試まで我慢強く受験にとりくむ人間を育てることも大切かと考える。 (高校、甲賀地区)
- ・ 特色ある学校は推薦選抜で入学できる人数を増やすべき。 (高校、湖西・大津地区)
- ・ 推薦入試において、面接や論作文などどれをどのぐらい重視しているのか不明確なので、推薦入試の指導がしづらい。重視する割合を明確にすべきである。 (中学校、湖西・大津地区)
- ・ 部活動の実績を要件とする推薦には見直しが必要。 (中学校、甲賀地区)

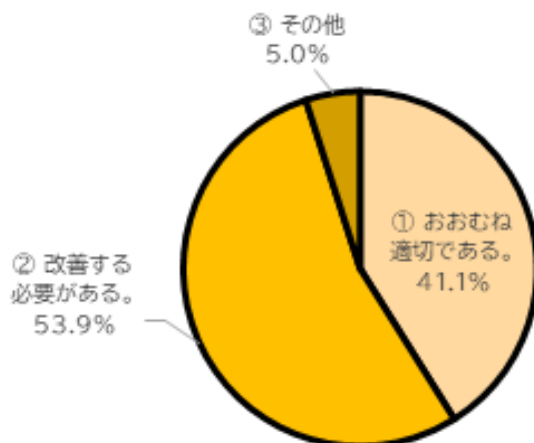
(2) 推薦選抜についての具体的な改善点等の御意見がありましたら、お書きください。(自由記述)

- ・ 全学校が、面接に加え、小論文や実技試験、英数国の筆記試験など、最低でも2つの内容の試験を課すようにする。 (高校、湖南地区)
- ・ 普通科小規模校については、推薦定員の割合を引き上げ、少なくとも40%もしくは50%まで認めていただきたい。 (高校、湖北地区)
- ・ 私学の日程があり難しさを感じるが、推薦の受検者についても一般入試を課してもよいのではないか。 (中学校、湖東地区)
- ・ 作文、小論文、面接等の項目を増やし、それぞれに時間をかけて評価するほうが良いように思う。 (中学校、湖南地区)

問5 特色選抜について

(1-1) 特色選抜について、どのようにお考えですか。次のうちから一つ選んでください。

- ① おおむね適切である。
- ② 改善する必要がある。
- ③ その他



(1-2) 上記を選んだ理由を書いてください。

① おおむね適切である。

- ・推薦選抜と同様に、生徒が行きたい高校を制限なく選べる（全県一区）ことが大前提として守られていることが何よりも適切であると思います。（高校、湖東地区）
- ・一般選抜とは違う選抜方法で、学校が求める生徒像を試験に反映させやすいから。（高校、湖西・大津地区）
- ・生徒にとっては複数回チャレンジする機会があり選択できることはありがたい。（中学校、湖東地区）
- ・意欲や目標をもって自己アピールをすることができている。（中学校、湖西・大津地区）

② 改善する必要がある。

- ・総合問題の問題作成に一般選抜と同様の制限があり、実態として「学校ごとの特色」になっていない。今後、アドミッション・ポリシーに則った選抜ができるのか見通しがみえてこない。（高校、湖北地区）
- ・現在は各校の特色を打ち出したものになっていないこと、志願倍率が高い学校にとっては採点業務をはじめ特色選抜に係る業務負担が大変大きくなっている。（高校、湖西・大津地区）
- ・各高校の「特色」を活かした選抜になっているとは思えない。高倍率の「一次試験」となっており、中学生にとって負担も大きく意味があるのかと考えてしまう。（中学校、湖西・大津地区）
- ・不合格だった生徒の精神面の負担があること。学力はあるのに、一般入試で第一志望を断念する者もあり、必要とは思えない。（中学校、湖東地区）

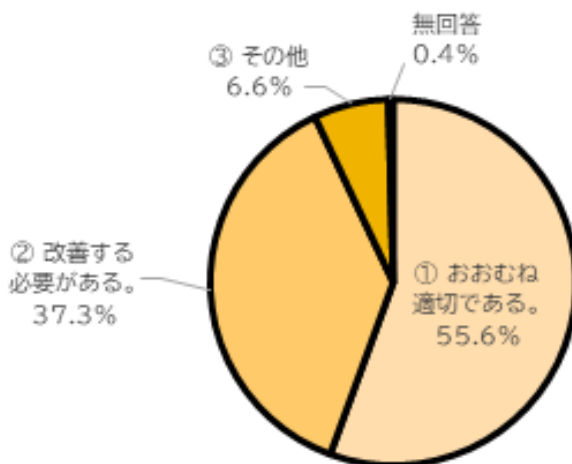
(2) 特色選抜についての具体的な改善点等の御意見がありましたら、お書きください。（自由記述）

- ・特色選抜の選択肢を増やし、各校の特色が出せるようにできないか。増やす選択肢としては、例えば面接やプレゼンテーションなど。ただし、入試倍率が高いと物理的に不可能となるため、一定の条件を付けたうえで出願者を絞ることが必要ではないかと思う。（高校、湖西・大津地区）
- ・アドミッション・ポリシーに基づく選抜方法として、現状の特色選抜と推薦選抜とを統合した多様な内容と方法による選抜制度を創設していくことが考えられる。（高校、湖南地区）
- ・推薦選抜を廃止し、特色選抜の中に推薦選抜を入れて、学力を特色とする学校は、学校独自の問題を作成する。（中学校、湖東地区）
- ・特色ある高校のみが、求める生徒の推薦を中学校に求める推薦制度に一本化してはどうか。（中学校、湖北地区）

問6 スポーツ・文化芸術推薦選抜について

(1-1) スポーツ・文化芸術推薦選抜について、どのようにお考えですか。次のうちから一つ選んでください。

- ① おおむね適切である。
- ② 改善する必要がある。
- ③ その他



(1-2) 上記を選んだ理由を書いてください。

① おおむね適切である。

- ・ 志願する動機が明白で、適性や興味関心に沿った制度であると考えています。 (高校、湖北地区)
- ・ 受検生の能力を正当に反映した評価ができると考えられるため。 (高校、甲賀地区)
- ・ 一芸に秀でた生徒がその点を評価され、さらにその能力を伸ばす環境があるのは良いことだと思う。 (中学校、湖北地区)
- ・ 魅力ある学校づくりの一助になっている。 (中学校、湖北地区)

② 改善する必要がある。

- ・ 国スポ後の在り方について検討する必要があるから。 (中学校、甲賀地区)
- ・ 中学校における部活動の位置づけは縮小傾向(地域スポーツへの移管など)にある中で、部活動を前面に出した入試には違和感がある。 (中学校、湖西・大津地区)
- ・ 国スポとの関りも見られることから、国スポ後もこのままでよいのかと考えてしまう。 (高校、甲賀地区)
- ・ スポーツや文化芸術に秀でていても、高校に入学すれば「学力」は重要であり、しっかり勉強して進級、卒業を目指すにあたり、スポーツ・文化芸術の実技点や面接等を重視した選抜方法では、入学後勉強が大変ではないかと思います。 (高校、湖西・大津地区)

(2) スポーツ・文化芸術推薦選抜についての具体的な改善点等の御意見がありましたら、お書きください。

(自由記述)

- ・ 特色選抜も含めて、すべてを推薦選抜として統合し、その中で、真に各学校の特色を打ち出せるような幅広い実施方法・選抜方法を展開し、一般選抜では採れないような生徒を選抜したい。 (高校、湖北地区)
- ・ 各高校のアドミッション・ポリシーに基づいた入学者選抜方法の中の一つとして検討していけばよいと考える。 (高校、湖南地区)
- ・ 中学校の部活動が地域移行への流れとなりつつある中で、進路指導が難しくなるのではないか。 (中学校、湖東地区)
- ・ 国スポ後はなくして、推薦選抜に統合した方が良い。 (中学校、甲賀地区)

問7 その他、入学者選抜制度について、御意見やお考えがありましたら、お書きください。

- ・「アドミッション・ポリシーに適った多様な選抜方法」、「中学校長と高等学校長の連携の在り方」、「校長の裁量範囲」などを検討する必要があると考える。また、急激な生徒減少への対応策としては、「地域枠」、「海外留学生枠」、「全国募集」、「発達障害など特別な支援が必要な生徒の受入れ」などについても検討が必要である。さらにこうした制度改善の成否は迅速な実施にかかっていると思われる。学力検査については、検査問題の出題方式や内容についてさまざまな角度から検討する必要がある。（高校、湖南地区）
- ・入学者選抜の多岐にわたる実施形態について、中学生の進路希望に対応するためにはやむを得ないと思う反面、多すぎる気がします。スポーツ・文化芸術推薦選抜のように目的達成後になくなるものもありますが、感染症等への対応として追検査が行われている現状を考慮すると、精選してもよいようにも思います。もっとシンプルな実施形態を求めます。（高校、湖西・大津地区）
- ・私は、選抜制度の変更によって生徒の学ぶ意欲を喚起するより、高校で学んだことが社会でどんな役に立つのかをもっとアピールすることで意欲につなげてほしい。現状、普通科志向の生徒が多いが、Society5.0の社会で、普通科を卒業した力が、本当に役に立つのかと思っているからである。生徒が、もっと職業科を選択するキャリア教育が必要ではないだろうか。（高校、湖東地区）
- ・愛知県の公立高校入試がマークテスト方式になる。（神奈川県でもやっているが・・・）制度を考えるにあたって、滋賀県も考えてもいいかもしれない。（高校、甲賀地区）
- ・改革するならば、抜本的に制度を変える必要があると考えます。改良ではあまり変化がなく、中学校としては書類等について出来るだけ簡素化することで、働き方改革が進むと思います。また、提出書類がすべて中学校を通して出願するというシステムになっているが、将来的には、生徒個人が電子で出願する方向にしてもよいのではないかと考えます。（中学校、湖東地区）
- ・この学校へ行かないとこの勉強ができないとか、こんな進路に進むことができるなど、特色のある学校経営が自由にできる環境を作らないと、高校も特色ある学校づくりができないと思う。受検（特色→推薦への変更や枠の拡大等）と合わせて検討する必要があると感じます。（中学校、湖北地区）
- ・さまざまに生徒の未来を輝かしくするためにご尽力いただいていることに感謝します。選抜の内容（検査問題）は、学校での授業にも深く影響することから、教科の面で、県をリードされている教員（教諭）の意見を広く聴取していただけるとありがたいと思います。（中学校、湖西・大津地区）
- ・働くことや専修学校を選んだ子どもについてはそれを尊重するが、高等学校進学希望した場合は、義務学校的に地域の学校に進学できるようにする。高等学校への進学希望は90%を超えているのだから。（中学校、甲賀地区）

入学者選抜制度に関するアンケート集計結果の概要2

1 実施期間および回答数について

実施期間：6月20日（月）～7月4日（月）

対象：県立高校一年生

有効回答数：6100（対象生徒数：9465人） 回答率 64.4%

2 集計結果について

問2 受検について

(1) あなたが受検したものをすべて選んでください。

- ① 推薦選抜
- ② スポーツ・文化芸術推薦選抜
- ③ 特色選抜
- ④ 一般選抜

受検方法	人数
① 推薦選抜	1060
① 推薦選抜;② スポーツ・文化芸術推薦選抜	32
① 推薦選抜;② スポーツ・文化芸術推薦選抜;④ 一般選抜	3
① 推薦選抜;③ 特色選抜	2
① 推薦選抜;③ 特色選抜;④ 一般選抜	2
① 推薦選抜;④ 一般選抜	135
② スポーツ・文化芸術推薦選抜	169
② スポーツ・文化芸術推薦選抜;③ 特色選抜	1
② スポーツ・文化芸術推薦選抜;③ 特色選抜;④ 一般選抜	1
② スポーツ・文化芸術推薦選抜;④ 一般選抜	7
③ 特色選抜	800
③ 特色選抜;④ 一般選抜	1307
④ 一般選抜	2531
無回答	50
合計	6100

(2) 上記の①、②、③の選抜を受検した理由を書いてください。（自由記述）



推薦選抜（スポーツ・文化芸術推薦選抜を含む）受検者は、「家から近い・学びたい学科・やりたいクラブ等があった」や「推薦が来た・もらえたから」を受検理由として回答している割合が多い。

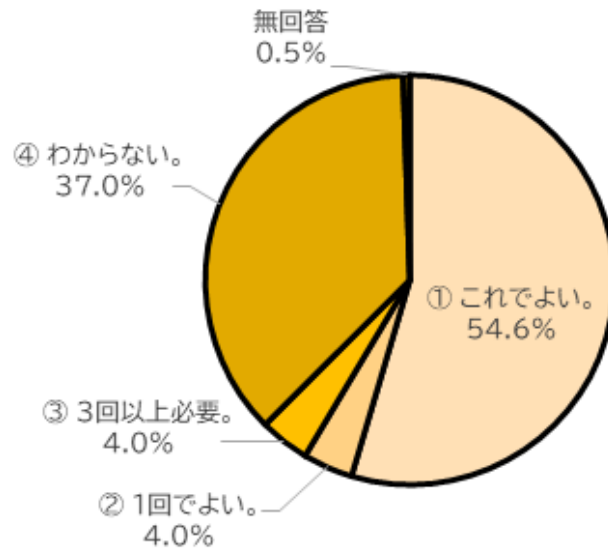
一方、特色選抜受検者は、「受検機会を増やすため」や「早く決めたかった」を受検理由と回答している割合が多い。

このことから、それぞれの受検に対する思いや考え方は異なっており、特色選抜に比べ推薦選抜の方が高校の特色に魅力を感じていることを受検の第一理由としている生徒が多いことがわかる。

問3 入学者選抜全般について

(1) 2月（推薦選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜、特色選抜）と3月（一般選抜）に2回受検する機会があります。複数回受検できることについてどう思いますか。次のうちから一つ選んでください。

- ① これでよい。
- ② 1回でよい。
- ③ 3回以上必要。
- ④ わからない。



(2) 上記で①、②、③と回答された方は、その理由を書いてください。（自由記述）

① これでよい。

- ・ 2回受けられるチャンスがあり、心に余裕が生まれる。
- ・ 受検に慣れることが出来る。
- ・ 受検機会が1回では不安だが、3回あると日程も仕組みも複雑になる。
- ・ 3回以上は受検する側、させる側双方にとって負担だが、1回では少なすぎるため。
- ・ 3回もやってしまうと1回当たりの合格者が少なくなってしまうので、2回でちょうどいい。
- ・ これ以上増やすと採点や作問、それぞれの検査に合わせた勉強が大変だから。

② 1回でよい。

- ・ 受検が終わるタイミングが人によって違うので、勉強に集中できなかつたり焦ったりする。
- ・ 特色選抜が単なる倍率の高い検査になっていて、高校の特色があまり出ていない。
- ・ 特色と一般だと問題の質が違いすぎて対策しづらい。
- ・ 結局受かる人数は同じだから。

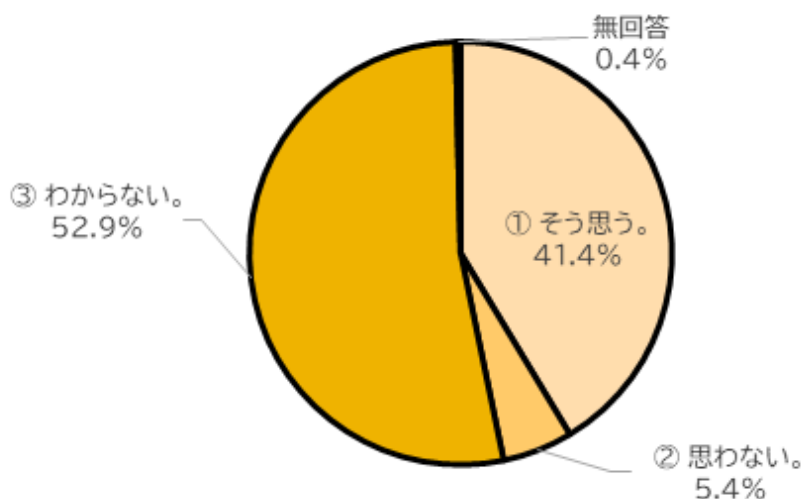
③ 3回以上必要。

- ・ ほとんどの人にとって受検は初めてで、受検できる回数が多い方が安心だから。
- ・ 収入等の理由で私立に行くことが難しい家庭にとって、志望校を下げずにチャレンジできる。

問4 推薦選抜について

(1) 推薦選抜は必要であると思いますか。次のうちから一つ選んでください。

- ① そう思う。
- ② 思わない。
- ③ わからない。



(2) 上記で①、②と回答された方は、その理由を書いてください。(自由記述)

① そう思う。

- ・中学校時代に努力した人たちが報われる。
- ・その高校についての思いや入りたい理由など、学力だけでは見ることができないことをたくさん見てもらうことができる。
- ・本当に行きたい高校が決まっており、その志望校に推薦でチャレンジ出来る機会があることは、推薦をもらうために勉強のモチベーションにつながる。
- ・勉強だけでなく、スポーツや芸術などの分野で優れた能力を持っている人は、社会で必要とされており、そういう人が成長するための機会になると思う。
- ・頑張っても勉強できない人もいます。そういう人たちのために、推薦選抜は必要。

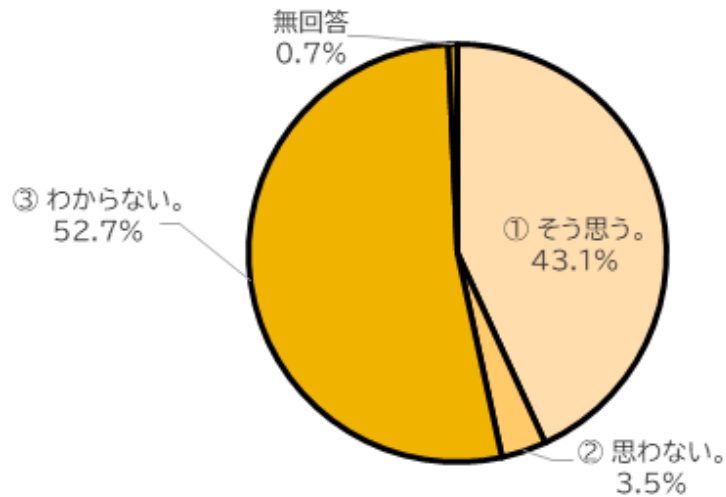
② 思わない。

- ・学力重視で補助的に内申の内容で合格させるのであれば、一般選抜とさほど変わらない。推薦選抜をなくすか、もっと募集枠を減らし、スポーツ・文化芸術推薦の枠を増やすべき。
- ・早く受検が終わったからといって、一般入試に向けての勉強の邪魔をしてくる人が多数出る。
- ・偏差値などの違いから選抜の種類が変わるのは納得いかないから。また、全ての学校で特色選抜に統一したほうが良いと思う。
- ・推薦選抜の採点基準がよくわからない。入試を受けないと学力を測れない。
- ・スポーツ以外の推薦は必要無いと思う。何を基準に推薦する人を選んでいるのか、さっぱり分からなかった。

問5 スポーツ・文化芸術推薦選抜について

(1) スポーツ・文化芸術推薦選抜は必要であると思いますか。次のうちから一つ選んでください。

- ① そう思う。
- ② 思わない。
- ③ わからない。



(2) 上記で①、②と回答された方は、その理由を書いてください。

① そう思う。

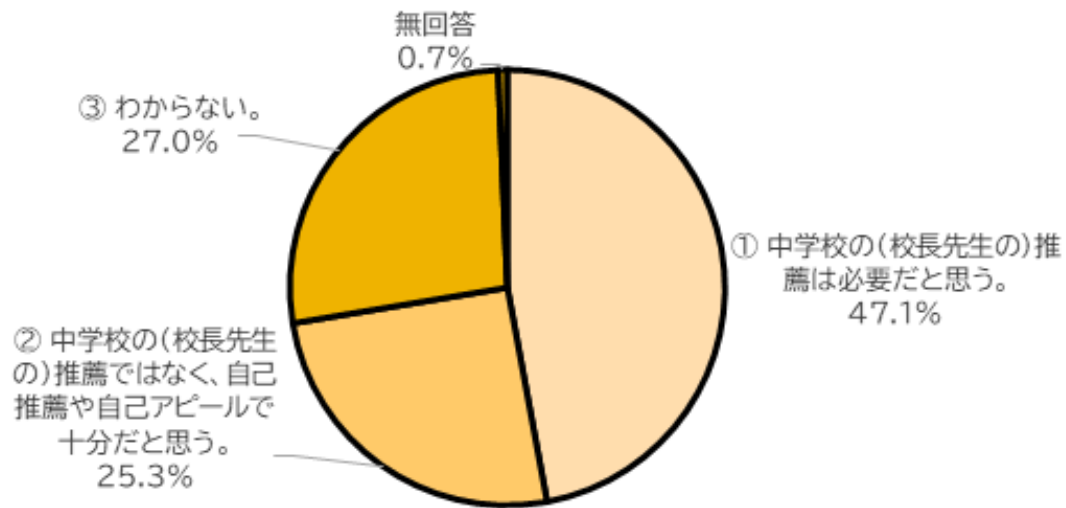
- ・芸術家、音楽家志望の人や、スポーツのプロを目指して日々励む人もいる。その人たちは皆と同じ検査をする必要はない。培ってきた実力を発揮して実技検査や作文などをこなすべき。
- ・スポーツ推薦は部活を強くしたい学校や、この強さを維持したい学校などに必要。
- ・学力も大切なことだと思いますが、学力以外のところでも自分が自信を持って発揮できることがあるのなら、それで評価してもらえることも良いことだと思う。
- ・より高い能力を持つ人材を選抜することで競争意識の向上を煽り、その学校のスポーツや芸術のレベルが上がる。

② 思わない。

- ・先天的な能力の影響が大きく、勉強にあまり関係がないスポーツや文化活動で他者より高校に入りやすくなるのは不公平だと思う。
- ・推薦された人が、普段の学校生活において、推薦される人物として思えない行動を度々しており、そのような人の為の制度となっているように感じたため。
- ・スポーツ・文化芸術推薦選抜で高校に入学すると、授業についていけない可能性がある。
- ・この制度で入学したら、その物事を頑張ることを半ば強要されるから。

問6 推薦選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜については、中学校の（校長先生の）推薦がないと受検できませんが、そのことについて、どのように思いますか。

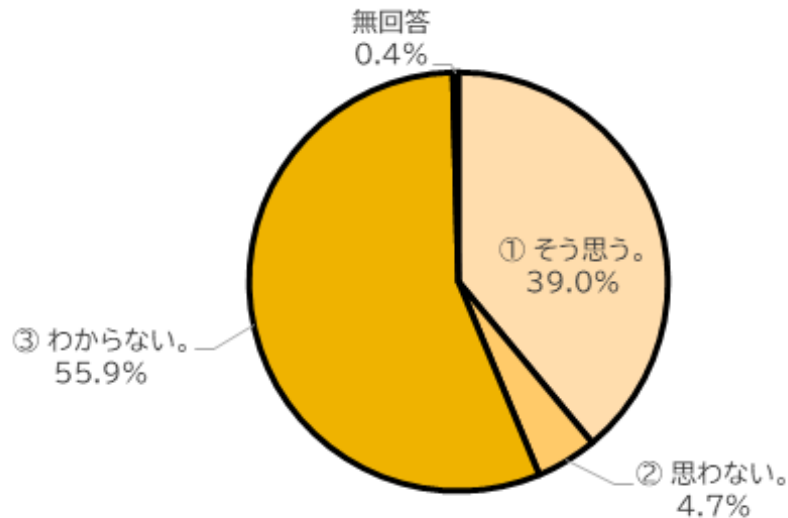
- ① 中学校の（校長先生の）推薦は必要だと思う。
- ② 中学校の（校長先生の）推薦ではなく、自己推薦や自己アピールで十分だと思う。
- ③ わからない。



問7 特色選抜について

(1) 特色選抜は必要であると思いますか。次のうちから一つ選んでください。

- ① そう思う。
- ② 思わない。
- ③ わからない。



(2) 上記で①、②と回答された方は、その理由を書いてください。

① そう思う。

- ・先生方の推薦なしで、誰でも受検出来て、ダメ元でも行きたい所にチャレンジ出来る。
- ・早くに合格することでその後の時間を有意義に使うことができる。また、特色選抜への対策を通じて培った小論文を書く力や難問に挑戦する力は、合格・不合格にかかわらず今後生きる。
- ・自身がそうだったように特色選抜があることで心の余裕が生まれることもあるし、一般に向けて高校で検査を受けることができるという点ではいい制度だと思う。

② 思わない。

- ・特色は塾に行っている人が受かりやすいから。特色で受かった人は勉強しなくなる人が多い。
- ・特色と一般で差をつける必要がないと思うから。
- ・一般と形式が大きく違うためそれぞれに向けた対策をする負担が大きすぎる。

問8 入学者選抜について、こんな制度があればよいなど、考えていることがあれば書いてください。

- ・推薦選抜や特色選抜などにおいて、筆記検査のほかに、受検生が、いくつかのグループに分かれて一緒に一つの問題を協力して解く。その問題の正解・不正解以外にも、話し合いの上で、リーダーシップや、考える力、意見を出させたり、まとめられたりする力などを総合的に評価する。この仕組みがあれば、将来日本や世界でリーダーシップを発揮し、活躍できる生徒を集めることができると思う。
- ・一般選抜にも実技教科(例:保健、技術、家庭など)の筆記検査をいくつか取り入れてもいいと思う。(英数国理社の中に混ぜても可)また、一部大問は選択問題式(A、B、Cで別のテーマや難易度があって、各高校がAかBかCを選んでその大問を解かせる)があったら高校に合う偏差値に調整しやすくなるかなと思う。
- ・特色か推薦のどちらかに統一してほしい。推薦や特色で、誰でも受けられるようにするのではなく、『ある一定以上の成績』など、もう少し受検者を限定してほしい。

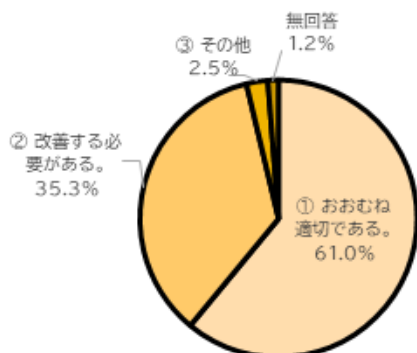
入学者選抜制度に関するアンケート集計結果の概要3

1 管理職と高校1年生の回答比較

○推薦選抜について

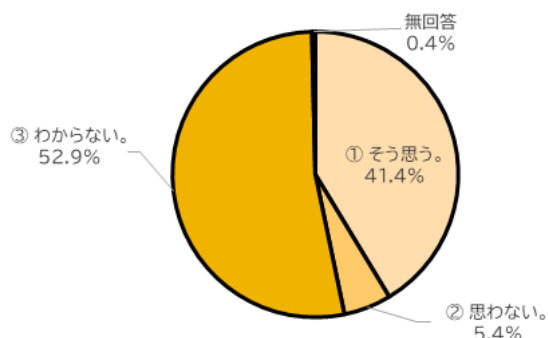
管理職

推薦選抜について、どのようにお考えですか。



高校1年生

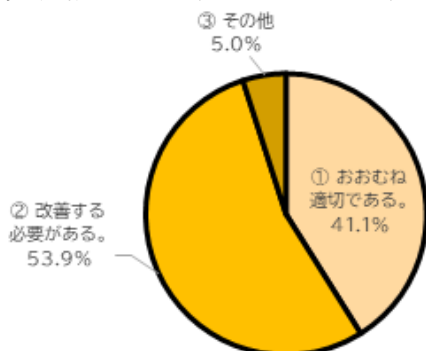
推薦選抜は必要であると思いますか。



○特色選抜について

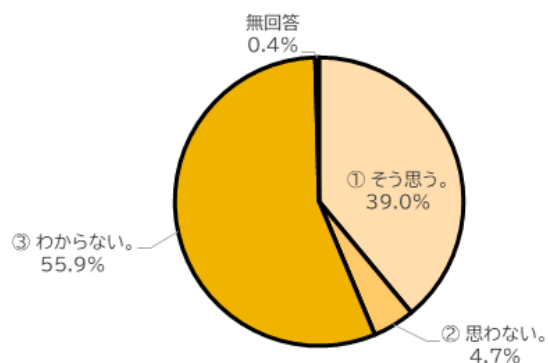
管理職

特色選抜について、どのようにお考えですか。



高校1年生

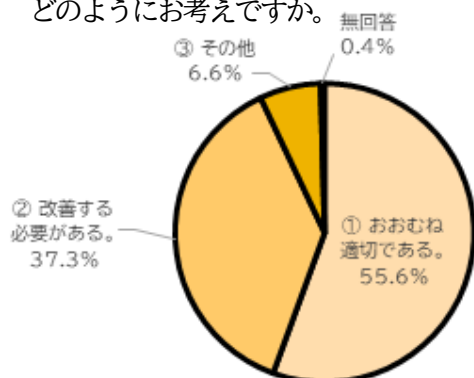
特色選抜は必要であると思いますか。



○スポーツ・文化芸術推薦選抜について

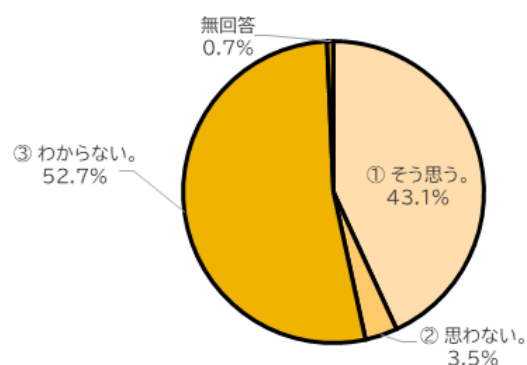
管理職

スポーツ・文化芸術推薦選抜について、どのようにお考えですか。



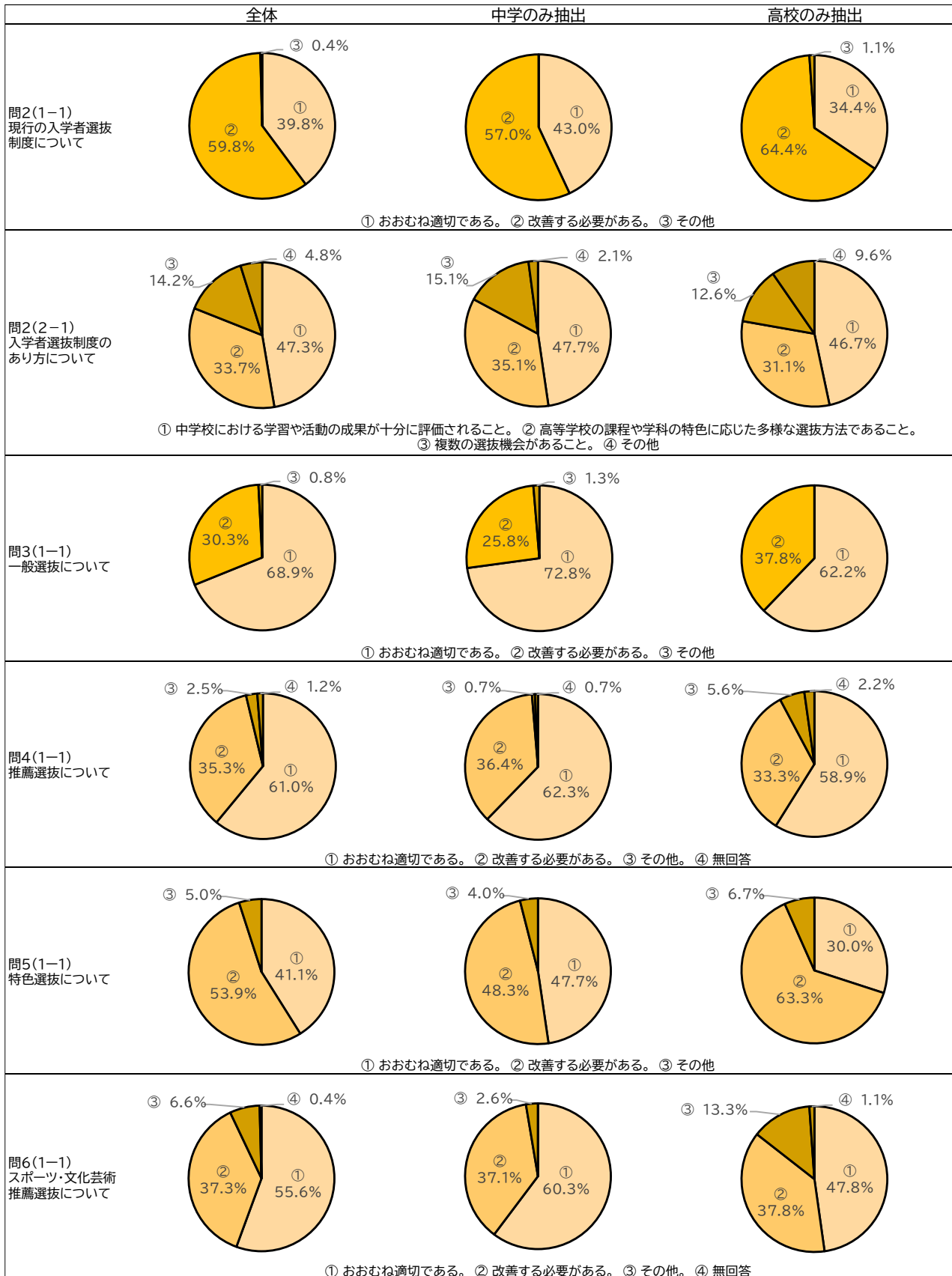
高校1年生

スポーツ・文化芸術推薦選抜は、必要であると思いますか。



- ・推薦選抜およびスポーツ・文化芸術推薦選抜については、管理職および高校1年生とも概ね現行制度に肯定的な意見を持っている。
- ・一方、特色選抜については、高校1年生に比べ、管理職は現行制度に否定的な意見を持っている。

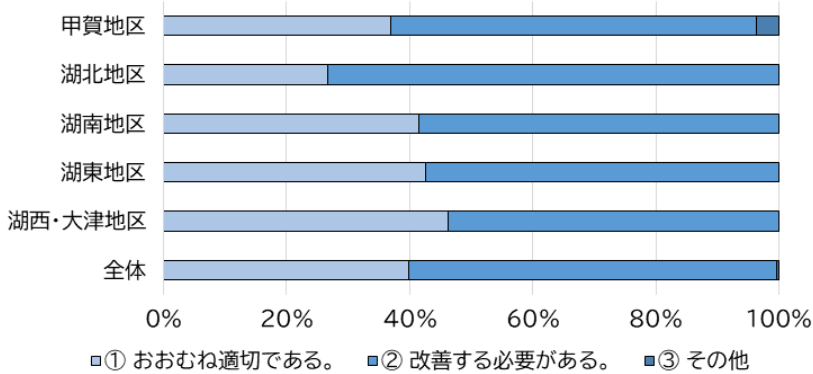
2 管理職の学校種別ごとの回答比較



- ・ 入学者制度全般をみると、中学校側より高校側の方が改善の必要性を感じている。
- ・ 特色選抜について、特に高校側が改善の必要性を感じている。
- ・ スポーツ・文化芸術推薦選抜については、中学校側と高校側で意見が分かれている。

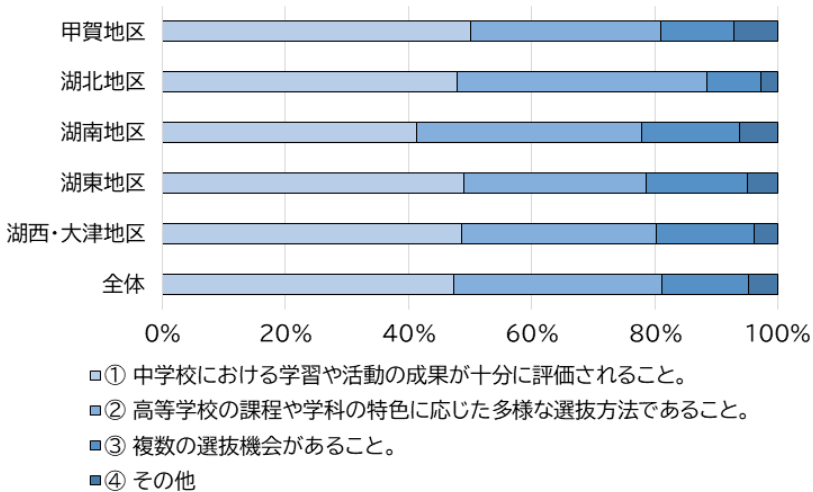
3 管理職の地区ごとの回答比較

問2(1-1) 現行の入学者選抜制度について、どのようにお考えですか。



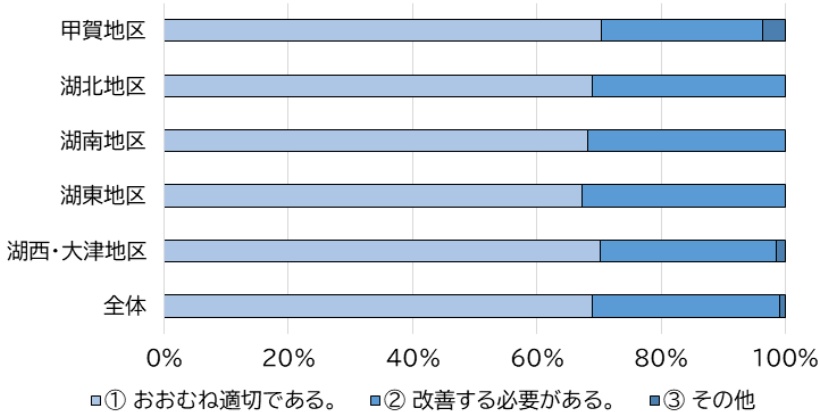
・湖北地区は他の地区に比べ、現行の入学者選抜制度を改善する必要があると考えている割合が多い。

問2(2-1) 入学者選抜制度のあり方について考える場合、どのようなことを特に重視すべきだと思いますか。



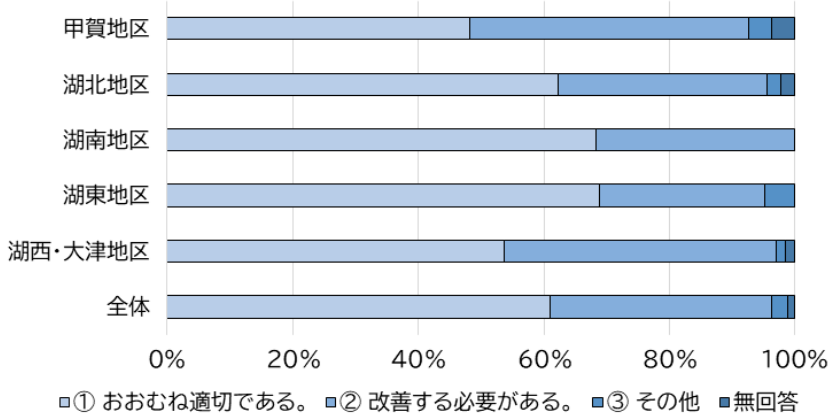
・湖北地区は他の4地区に比べ、複数の選抜機会を重視する割合が少なく、多様な選抜方法を重視する割合が多い。

問3(1-1) 一般選抜について、どのようにお考えですか。



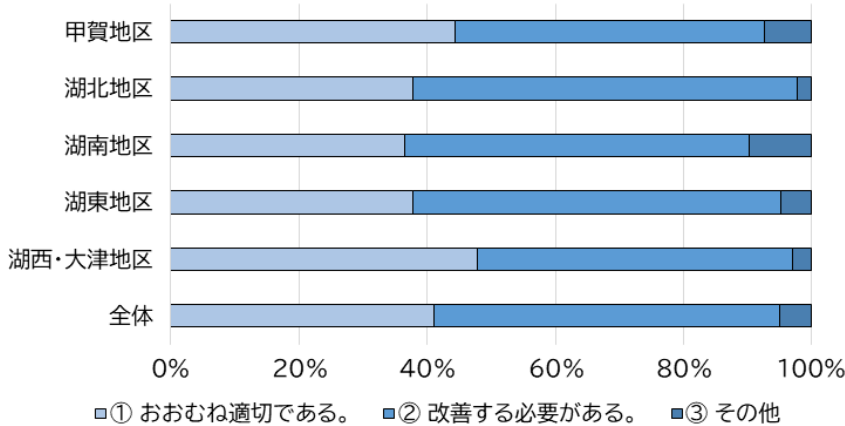
・すべての地区で、おおむね適切であると考えられている。

問4(1-1)推薦選抜について、どのようにお考えですか。



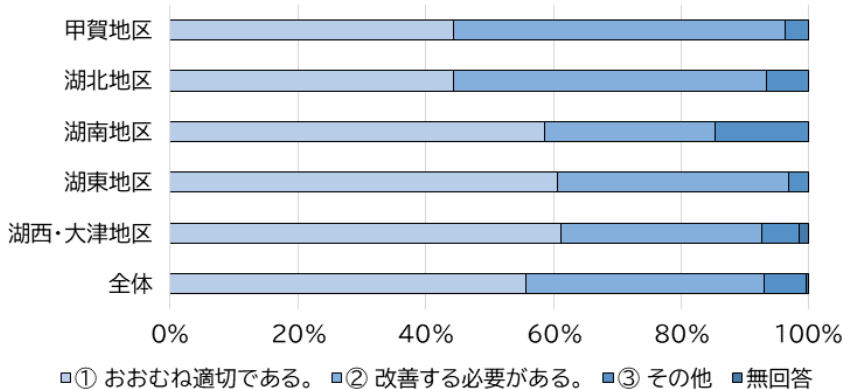
・甲賀地区、湖南・大津地区では、改善する必要があると考えている割合が多い。一方、湖北地区、湖南地区、湖東地区では、おおむね適切であると考えている割合が多い。

問5(1-1)特色選抜について、どのようにお考えですか。



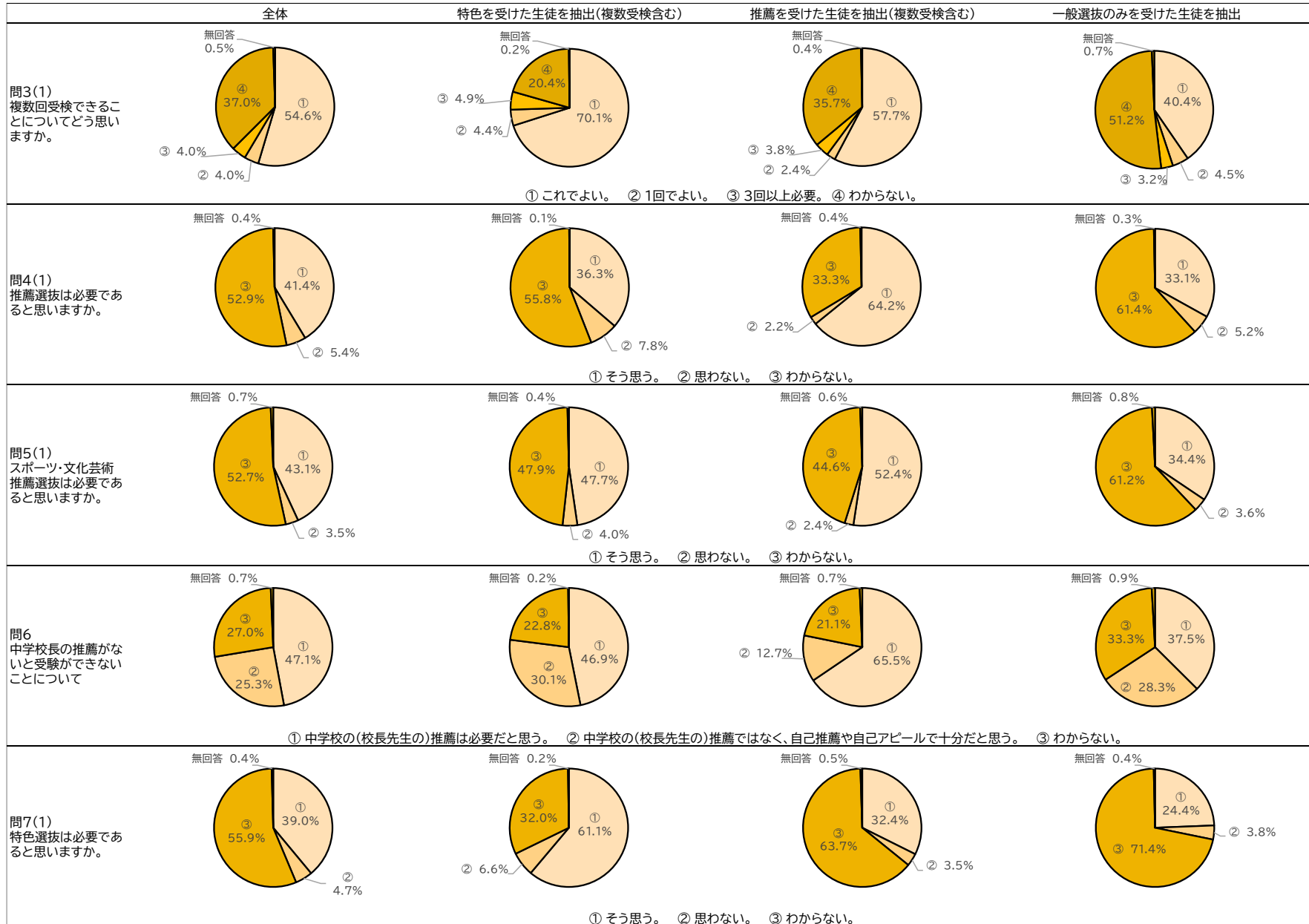
・甲賀地区、湖南・大津地区では、他の3地区に比べおおむね適切であると考えている割合が多い。

問6(1-1)スポーツ・文化芸術推薦選抜について、どのようにお考えですか。



・甲賀地区、湖北地区では、他の3地区に比べ改善する必要があると考えている割合が多い。

4 生徒(高校1年生)の受験区分ごとの回答比較



・複数回受験できることについては、特色選抜を受検した生徒において現行制度に肯定的な意見の割合が圧倒的に多い。

・生徒自身が受検した選抜方法については、肯定的に考えている。

・中学校の推薦が必要なことについては、推薦選抜を受検した生徒は必要と考えている割合が多いが、その他の生徒は自己推薦で十分と考えている割合が多い。